

平成27年度 上半期収支状況

一般会計、特別会計等の平成27年度上半期（4月～9月）分の収支状況は次のとおりとなっています。

平成27年9月30日現在

区分	当初予算額	補正額	予算現額	収入済額	支出済額
一般会計	522億5,000万円	74億4,429万6千円	596億9,429万6千円	230億2,301万円	148億9,577万4千円
国民健康保険特別会計	27億4,500万円	1億1,969万5千円	28億6,469万5千円	11億8,694万8千円	10億5,200万9千円
後期高齢者医療特別会計	1億5,570万円	0円	1億5,570万円	4,390万4千円	2,895万9千円
介護保険特別会計	16億600万円	4,724万3千円	16億5,324万3千円	7億3,810万4千円	6億5,335万円
市場事業特別会計	2,410万円	0円	2,410万円	1,248万1千円	974万円
漁業集落排水事業特別会計	3,890万円	70万6千円	3,960万6千円	1,788万2千円	615万3千円
公共下水道事業特別会計	3億9,400万円	647万円	4億47万円	2億8万円	1億8,574万1千円

一般会計、特別会計等の平成27年度上半期（4月～9月）分の収支状況は次のとおりとなっています。

平成27年度一般会計当初予算は522億5,000万円となり、うち、東日本大震災復興関連事業予算が約449億9,200万円と予算全体の86%を占めております。更に、復旧・復興関連事業等の追加により、9月末までの予算現額は596億9,429万6千円と、予算規模はさらに大きくなっております。

主なものとして、防災集団移転促進事業、災害公営住宅整備事業、災害対策長期派遣事業、道路や学校などの復旧・復興関連事業が行われております。財源としては、国、県の補助金や負担金、地方交付税、町債、基金などを充てています。

公共下水道事業特別会計も、前年度と比較して当初予算が約1億5,600万円増額しております。東日本大震災復興関連事業による伊里前下水道管の敷設工事を行うことによるものです。なお、居宅介護支援事業特別会計は平成26年度をもちまして終了しました。

企業会計区分		予算現額	収支済額
水道事業会計	収益的	収入	4億9,028万円
		支出	4億5,245万円
	資本的	収入	34億4,112万1千円
		支出	39億5,611万3千円
病院事業会計	収益的	収入	14億4,088万7千円
		支出	14億9,000万円
	資本的	収入	48億6,595万1千円
		支出	48億6,595万1千円
訪問看護ステーション事業会計	収入	5,355万6千円	
	支出	5,355万6千円	

【水道事業】

上半期の給水収益は、予算執行率53%で震災前と比較し89%と緩やかではありますが回復傾向にあります。また、給水装置設置費補助金は前年比43%、510万円の支出となっております。

災害復旧事業は、繰越工事を含めた予算総額38億1,400万円に対し2億6,660万円、7%の執行に留まっていますが、下期において黒崎地区配水管布設、戸倉浄水場関連工事等の水道事業の基幹となる工事が発注を控えています。災害復旧事業は本年から来年度がピークとなる見込みです。

【病院事業・訪問看護事業】

病院事業においては、昨年度に引き続き外来機能を町内に、入院機能を登米市の旧米山病院の病棟施設を借用し、地域に必要な医療の確保を図ってまいりました。2か所の施設を統合し12月に開院予定の南三陸病院については、入院病床が現在の38床から90床となり、透析治療も開始予定となっております。今後も収益の増に向け経営努力を行ってまいります。

訪問看護事業においては、利用者、収益ともに前年度と同様の傾向にあることから、今後も事業回復に向け利用者確保に努めます。

平成26年度 特別会計・企業会計決算

特別会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額
国民健康保険特別会計	24億8,181万9千円	22億4,263万1千円	2億3,918万8千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,000万9千円	1億3,575万8千円	425万1千円
介護保険特別会計	15億5,893万4千円	15億1,291万6千円	4,601万8千円
居宅介護支援事業特別会計	1,729万3千円	1,617万9千円	111万4千円
市場事業特別会計	2,286万8千円	2,038万8千円	248万円
漁業集落排水事業特別会計	1,608万2千円	1,507万5千円	100万7千円
公共下水道事業特別会計	4億2,915万6千円	4億1,700万5千円	1,215万1千円

企業会計区分		予算額	決算額
水道事業会計	収益的	収入	4億1,026万1千円
		支出	3億8,961万7千円
	資本的	収入	19億6,079万5千円
		支出	21億9,425万円
病院事業会計	収益的	収入	13億1,872万3千円
		支出	13億522万円
	資本的	収入	8億5,199万4千円
		支出	8億5,491万円
訪問看護ステーション事業会計	収益的	収入	5,133万2千円
		支出	5,281万3千円

借入金（町債・企業債）の状況

町では、公共施設を整備するために借入金などで資金を調達しています。

一般会計では、前年度に引き続き、災害援護資金貸付事業（4,810万円）の借り入れを行い、他にも、防火水槽の設置や消防小型動力ポンプ積載車の購入などの防災対策整備事業（2,440万円）の借り入れも行いました。さらに、新たに災害公営住宅の建設に伴い公営住宅建設事業債（5億460万円）も借り入れ、借入総額は12億8,170万円となりました。借入総額のうち、地方交付税の不足分を補うための臨時財政対策債の借入額は約3億600万円で、23.9%を占めています。

他会計においては、平成26年度の借り入れは行いませんでした。

町としての平成26年度末現在高の合計額は142億6,191万円となり、前年度末から1億428万円減少しています。

区分	平成25年度末現在高	平成26年度借入額	平成26年度償還額	平成26年度末現在高
一般会計	93億9,023万円	12億8,170万円	11億2,107万3千円	95億5,085万7千円
市場事業特別会計	1億51万5千円	0円	1,443万5千円	8,608万円
漁業集落排水事業特別会計	1億1,939万円	0円	712万円	1億1,227万円
公共下水道事業特別会計	18億4,101万1千円	0円	9,032万7千円	17億5,068万4千円
水道事業会計	23億9,729万4千円	0円	1億3,741万5千円	22億5,987万9千円
病院事業会計	5億1,775万円	0円	1,561万円	5億214万円
合計	143億6,619万円	12億8,170万円	13億8,598万円	142億6,191万円

町が所有する主な財産

基金	山林	土地	建物	車両	出資による権利	有価証券
						
61,052,532,335円	25,894,890㎡	5,224,696㎡	91,796㎡	118台	109,027,000円	14,361,934円